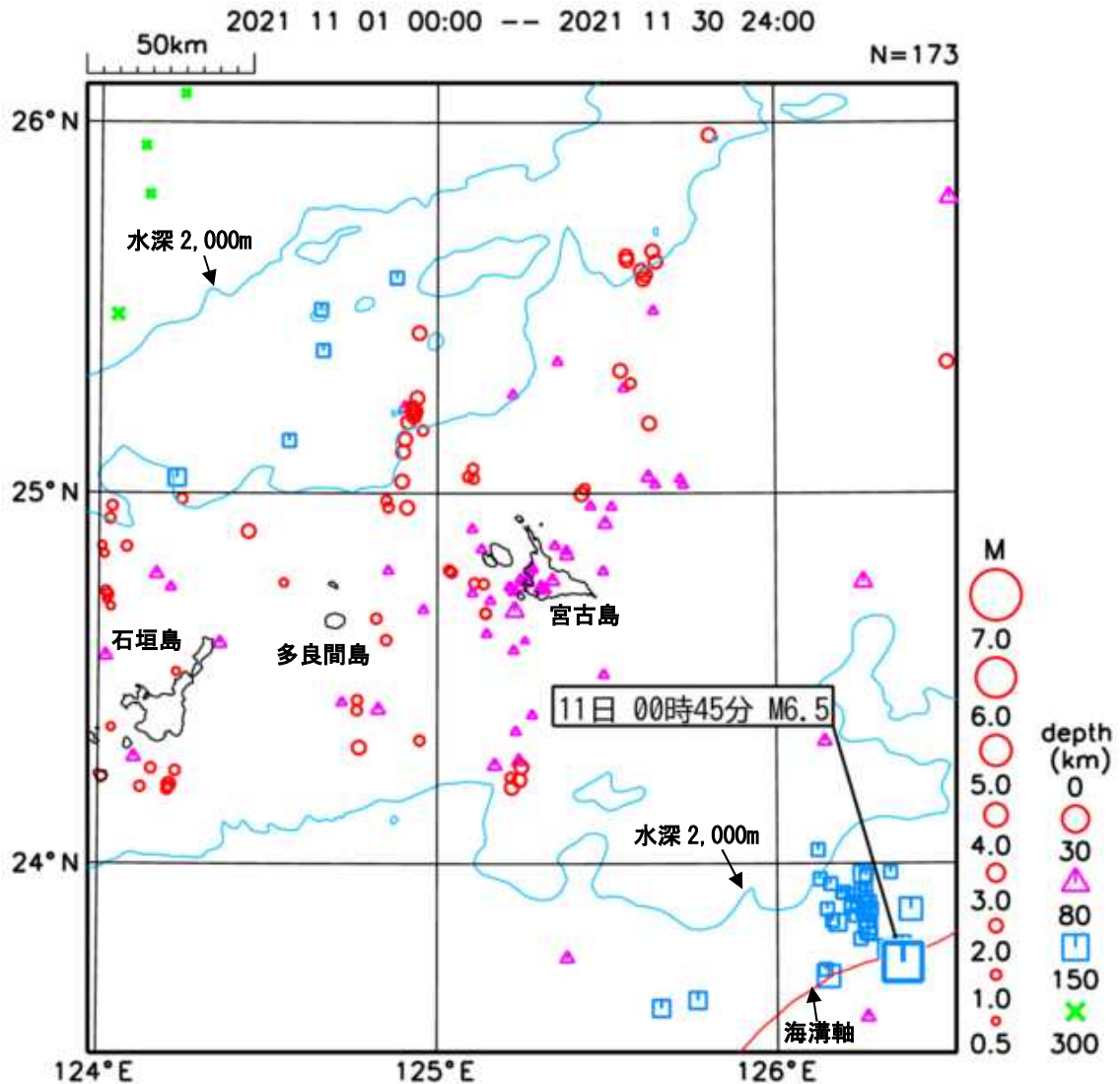


# 宮古島地方の地震活動図

令和3年（2021年）11月

宮古島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ  
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）  
宮古島地方で震度1以上の地震を観測した場合は、吹き出しで示しています。

### 【概況】

今期間（11月）、宮古島地方で観測した地震は173回（10月は129回）で、震度1以上を観測した地震は1回（10月は3回）でした。

11日00時45分に宮古島近海で発生した地震（M6.5）により、宮古島市で震度3を観測したほか、奄美大島（鹿児島県）から与那国島にかけて震度2～1を観測しました（別紙参照）。

## 宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:11月1日~30日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年11月11日00時45分	宮古島近海	23° 43.9' N	126° 22.0' E	115km	M6.5
沖縄県	震度 3 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市上野支所*				
	震度 2 : 座間味村座間味*, 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉*, 多良間村塩川, 多良間村仲筋* 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港*, 石垣市平久保 石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間				
	震度 1 : 名護市豊原, 名護市港*, 国頭村辺土名*, 恩納村恩納*, 宜野座村宜野座* 粟国村浜, 那覇市港町*, 沖縄市美里*, 西原町与那城*, 渡名喜村渡名喜* うるま市みどり町*, 南城市玉城字玉城, 南城市知念久手堅*, 南城市佐敷字佐敷* 久米島町山城, 久米島町仲泊*, 石垣市登野城, 石垣市新川, 石垣市伊原間* 与那国町久部良, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*				
鹿児島県	震度 1 : 奄美市名瀬港町, 伊仙町伊仙*				

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※宮古島地方の震度観測点のみ記載しています。

### ※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

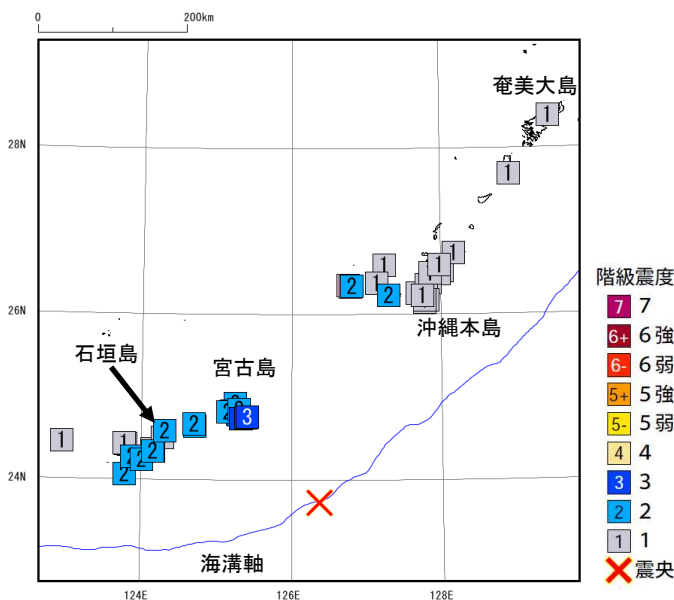
### ※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

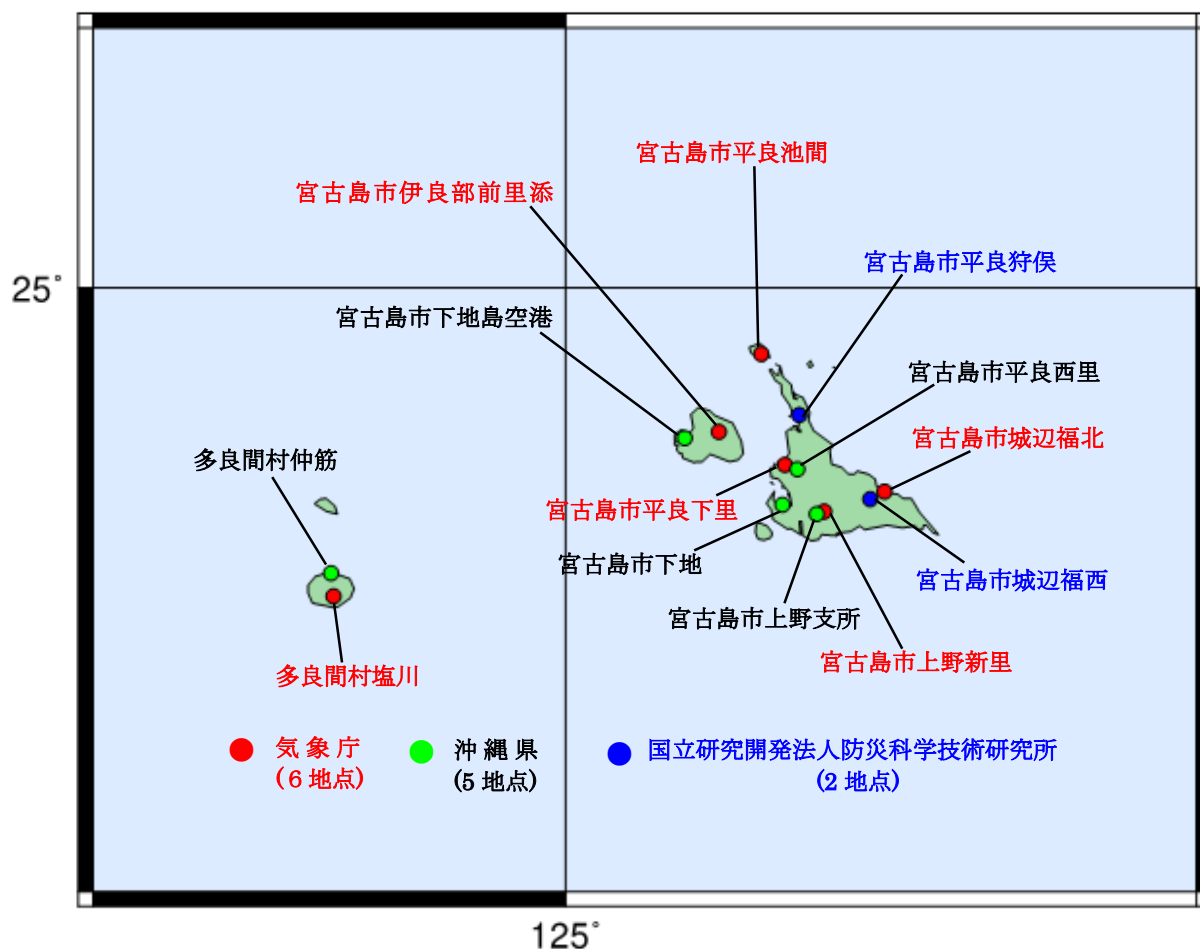
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

## 宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布

2021年11月11日00時45分宮古島近海の地震の震度分布図



## 宮古島地方の震度観測地点



### ○ 宮古島地方の地震活動図

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/earthquake.html>

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054



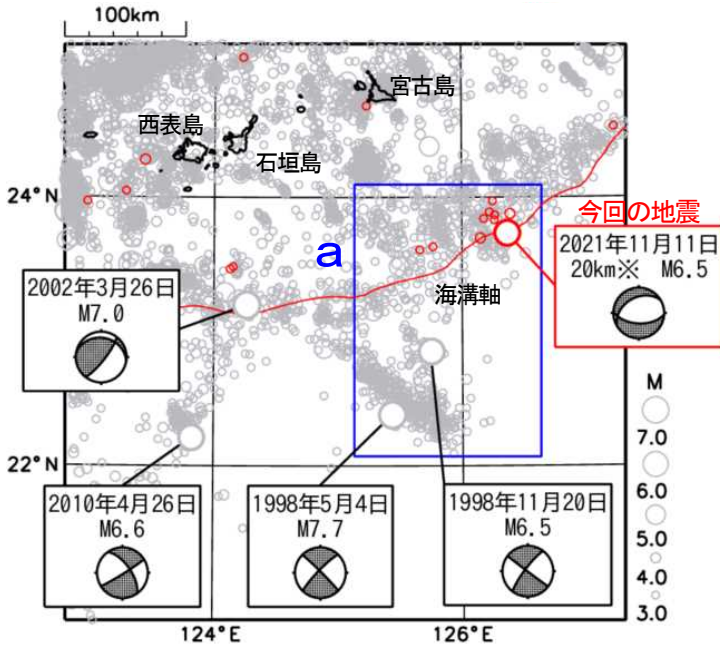
### ○ 防災一口メモ (沖縄気象台HP)

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

# 11月11日 宮古島近海の地震

震央分布図  
(1998年1月1日～2021年11月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2021年11月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

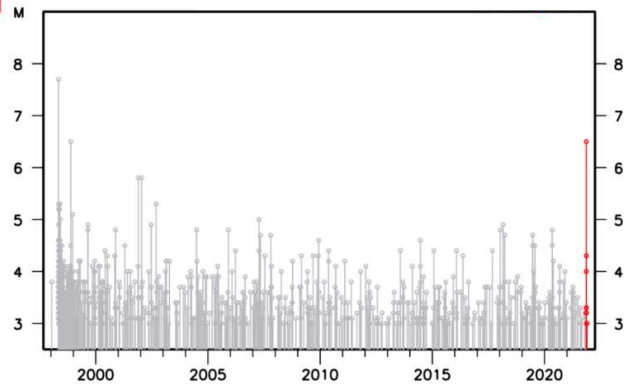


※今回の地震の深さはCMT解による

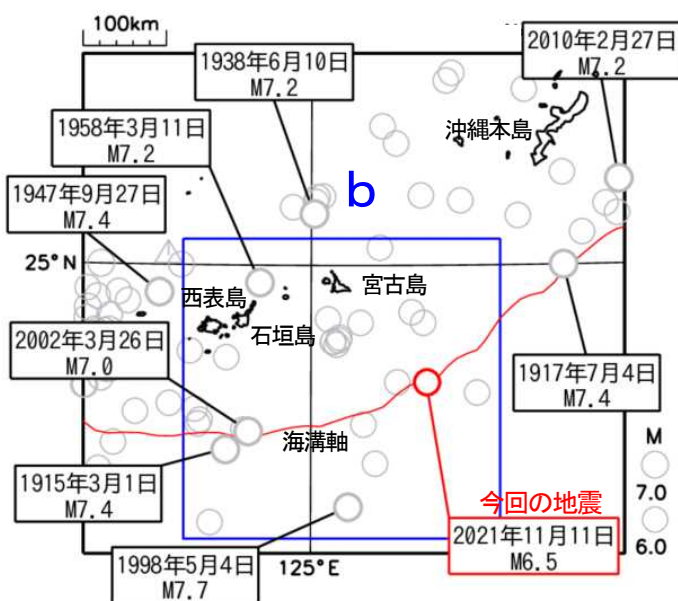
2021年11月11日00時45分頃に宮古島近海の深さ20km (CMT解による) でM6.5の地震 (最大震度3) が発生しています。この地震は、発震機構 (CMT解) が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

1998年1月以降の活動をみると、この地震の震央周辺 (領域a) では、M6.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1998年5月4日のM7.7の地震 (最大震度3) では、那覇、与那国島久部良で微弱の津波を観測しました。

領域a内のM-T図



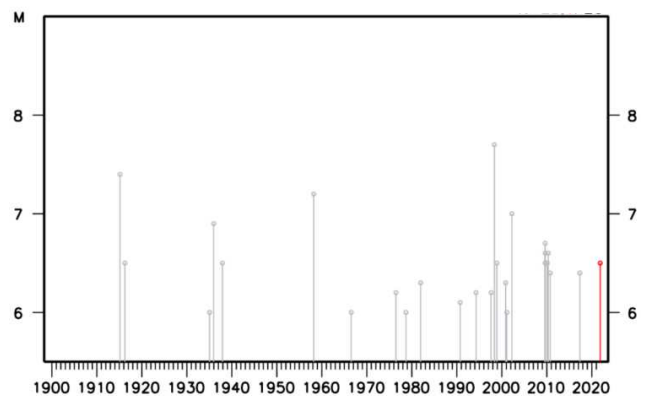
震央分布図  
(1900年1月1日～2021年11月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )  
2021年11月の地震を赤く表示



(震源要素は、1900年～1918年は茅野・宇津 (2001)、  
宇津 (1982, 1985) による※)

1900年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M7.0以上の地震が4回発生しています。このうち、2002年3月26日に発生したM7.0の地震 (最大震度1) では、与那国島久部良で6cmの津波を観測しました。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

※宇津徳治 (1982) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年, 震研彙報, 56, 401-463.

宇津徳治 (1985) : 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表 : 1885年～1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 657pp.

なお、この資料は気象庁が作成した資料で、そのまま掲載しています。